



# 大すきいっぱい西北の子

～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和6年2月14日  
長崎市立西北小学校  
文責：校長 江原芳樹  
第9号

2月になりました。新潟県育ちの仏文学者、堀口大学は、「太陽暦の作者は、雪国に親切だった。果てしなく思える（厳しい寒さに耐え忍ぶ）2月だけど、1年で最も短い日数で終われるから。」と書いています。

今週は天気予報によると、「4月中旬の温かさ」になるのだとか。とはいえ、まだまだ寒さが残る2月です。正門横の紅梅がその色を主張しはじめています。梅の異称は「春告草（はるつけぐさ）」です。春はすぐそこまで来ています。

2月を「光の春」「春どなり」と呼ぶように、それぞれの子どもにも春が訪れる2月にしていきたいと考えています。

また、一年を通じて、朝からの「旗振り」に多くの保護者の方が参加してくれました。「西北小は、子どもたちが登校する時間、大人の目がある」という発信力があり、交通安全以上の意味があると感じています。本当にありがとうございます。

## 自律した学習者

学校だよりNo.4でお知らせしたように、西北小学校では、「自立した学習者」をめざしています。そして、そのために身に付けさせたい力として、7つの資質能力をあげました。先日、校内研修の時間に、全職員で「自立した学習者」の振り返りを行いました。

授業中は、友達と協働的に課題に向かう姿が多くなるなど、「他者とかかわる力」が伸びてきています。

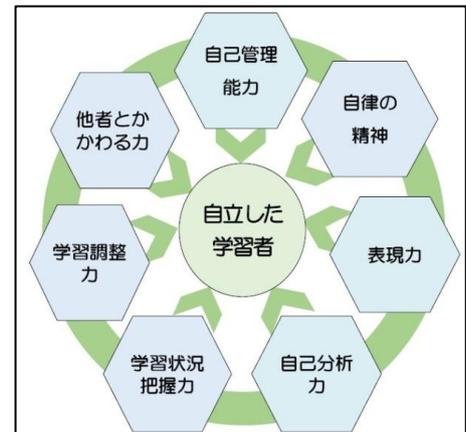
授業中の発言が多くなったり、友達と情報交流を進めながら課題に向かったり、自分の考えを伝える「表現力」の高まりも見られるようになりました。

高学年では、西北検定など、自分の学習の結果を受け、自身の学習の取組を振り返り、自信をつけたり、反省をしたりして、「学習状況把握力」や「自己分析力」が高まってきました。

一方で、「自律の精神」などは、学習場面だけでなく、学校生活全般において高めていく必要があることや、学習の場において、あまり意図的な取組が見られなかった「学習調整力」「自己管理能力」などの、課題を確認することができました。

2学期から、家庭学習を自主的な取組や選択できる取組に変えてきています。これは、「先生がいなければ学習ができない子どもにしないようにしよう。」との思いからです。先生や友達と一緒に学習することは大切だけど、一人でも学習できる力を付けさせたいのです。

今後も継続して「自立した学習者」をめざしていきます。ご家庭でも、自主学習や選択学習に取り組む姿が見られましたら、これまで以上に温かく見守ってください。



## 特別功労賞

学校歯科医の品川浩実先生（しながわ歯科医院）が、長崎県学校保健会より「特別功労賞」を受賞されました。長年、本校の学校歯科医として子どもたちの歯の健康に尽力いただいたことが評価されました。品川先生は歯科検診のとき、一人ひとりの子どもに声を掛けてくれる、とてもやさしい先生です。

先日、しながわ歯科医院の方へ出向き、賞状と記念品を渡してきました。いつもにこやかな表情をされていますが、この日はさらにニコニコと弾ける笑顔を見せていただきました。

これからも、西北小の子どもたちの歯の健康のためにお力をいただきたいと思います。



## 学級編制について

先日、「毎年クラス替えを行うメリットは充分理解しているが、2年に一度のクラス替えについても検討してほしい」という匿名の申し出がありました。本来、匿名であれば、具体的に対応できかねるところですが、学級編制についての西北小学校としての考えをお知らせします。

「公立校においては、学校ならではの協働的な学び合いを通して、多様な他者と協働して主体的に課題を解決する力を育む役割があります。西北小学校は幸いにも、学年2～3学級があり、多様な他者との触れ合いの場を保障できます。そこで、このことを本校の『強み』と捉え、できるだけ多くの他者(同級生や先生)と協働できる場を設ける視点から、毎年の学級編成を行うことにしています。」

どうか、ご理解いただきたいと思います。

## 《校長散歩道 No.9》

「子どもに YouTube を見せるべきか一緒に考えませんか。」というコラムが目にとまりました。テレビと YouTube の違いを明確に示し、YouTube を安易に子どもに与えることを痛烈に批判しています。痛烈でしたが、私には大変共感できるものでした。

テレビ番組は、時間をかけ編集し、伝える相手を考え、想像し、より豊かな毎日を願って制作されています。また、一つの番組に多くの人がかかわっていることから、一方的な情報発信にはなりにくいようです。だから、アンパンマンは多くの人に勇気を与え、ディズニーは愛と希望を与え、ドラえもんが夢を感じさせてくれる、と。しかし、YouTube は、「自分が好きなことで生きていく」ために作られていて、伝える相手ではなく、自分が発信する情報がいかに「ウケるか」にその目的があります。

東北大の研究結果では、受け身の状態で情報を受けとってばかりいると、脳に悪影響が出るといわれています。となれば、発信者の願い・想いの感じられない YouTube は、一層悪影響になるのではと思います。しかも、YouTube は無料です。「『ただ』ほど怖いものはない。」、昔の人は、予想不可能な世の中となった現代にも通じる言葉を残してくれていたようです。